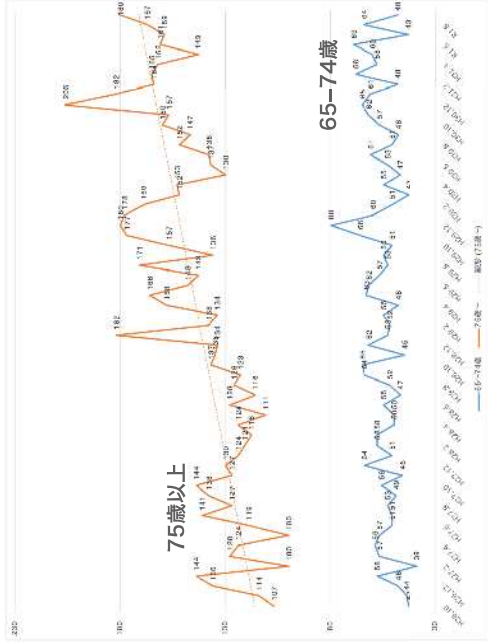


高齢者救急の実態

海老名総合病院
服部智任

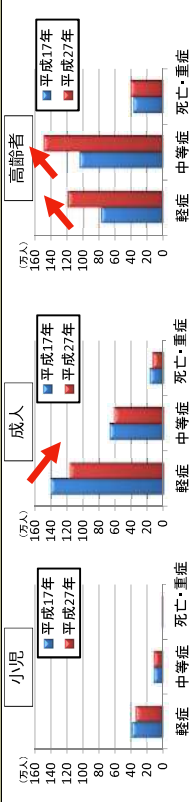
海老名総合病院における高齢者救急搬送 中等症以上患者数



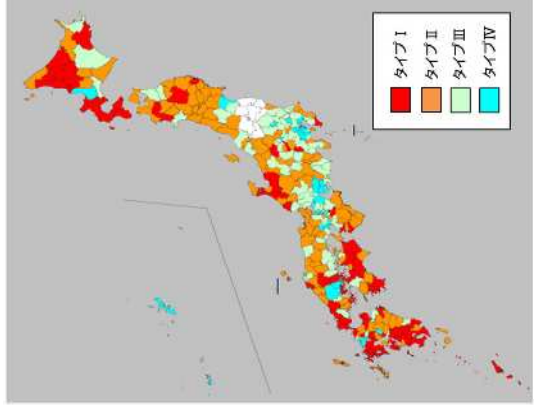
10年間の救急搬送人員の変化(年齢・重症度別)

「第1回救急医療体制等のあり方に
関する検討会」(平成25年2月6日)資料改

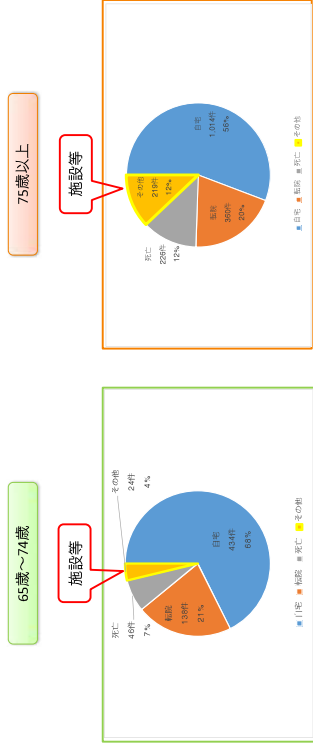
○ 救急搬送人員の伸びは、年齢別では高齢者が多く、重症度別では軽症・中等症が多い。



既存病床数と入院医療需要の類型



- タイプI**
病床過多であり、病床数の低減を検討。
- タイプII**
病床過多だが、回復、慢性期はやや不足。
急性期機能病床の病床機能転換を検討。
外来の医療資源を在宅医療に活用を検討。
- タイプIII**
回復期、慢性期病床が不足。
急性期入院の医療需要減少時点で病床機能転換を検討。
- タイプIV**
病床不足。
入院受療率の低減につながる施策を検討。



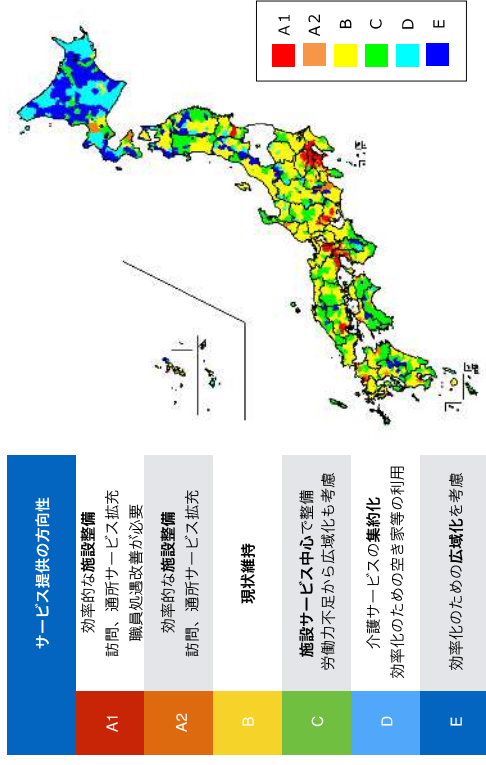
めざすがた (狭義)

■ 誰もが元気でいきいきと暮らしながら、必要なときに身近な地域で質の高い医療を安心して受けられる。

→ 急性期から在宅医療・介護まで一連のサービスが切れ目なく適切に受けられる

→ 在宅療養患者の急変時の往診や、入退院の連携が円滑に行われる

既存介護サービスと介護需要の類型



神奈川県事情

■ 神奈川県は、県央を含め、当面、医療需要が増えていく地域が大部分 (全国的には少数派)
■ 国が想定しているのは、医療需要が減少していく地域

■ 医療需要が減少していく地域とは、課題もやり方も異なる

■ これから急激に高齢化が進む

■ 必要病床数に合わせて病床を大幅に増やすことは非現実的

■ 病床利用率は全国と比べて高く、平均在院日数は短い

■ 必要病床数は、目標ではなく参考

■ 病床利用率の向上、地域での連携体制の構築などにより、医療資源の有効活用、入院医療のさらなる効率化

■ 実感として、何が不足しているか。地域内で円滑に連携し、限りある資源を有効活用するにはどうすればよいか。

■ 急増する高齢者を、誰が、どこで診ていくのか。

県央地域医療構想

身近な地域で、救急搬送から入院、転院、退院後の在宅医療等に至るまで、切れ目なく円滑に、患者の状態に応じた医療が提供されるよう、医療資源を最大限に活用し、病床機能を確認することと併せて、地域の実情に応じた医療機能の分化・連携を進めることが必要です。

地域において病床機能の分化・連携を進めるには、医療機関が担う役割を明らかにし、地域住民や関係機関で共有することが必要です。医療機関の自主的な取り組みが促進されるよう、地域の医療提供体制の現状や病床機能の確保・連携に係る支援策を積極的に情報提供することが求められています。また、地域住民が適切な医療機関を選択し、関係機関によって受療につなげてもらえるよう、分かりやすい情報提供が必要です。

13

15

看取り加算に関わる施設

特老	老健	有料老人ホーム (介護付)	グループホーム	サ高住	小規模多機能	計	
厚本市	11	7	5	12	6	2	43
大和市	10	5	9	20	16	8	68
海老名市	8	2	8	6	6	1	31
座間市	6	2	5	5	5	3	26
綾瀬市	3	0	5	3	4	1	16
愛川町	3	1	0	2	2	1	9
清川村	0	0	0	0	0	0	0

14

平成30年度保険者機能強化推進交付金（市町村分）
に関わる評価指標状況調査（在宅医療・介護連携分）

③医療・介護関係者間の情報共有ツールの整備または普及について具体的な取り組みを行っているか。 10点満点

全国平均 8.8点（神奈川県 7.6点）

...

⑥関係市町村や郡市医師会等関係団体、都道府県と連携し、退院支援ルール等、広域的な医療介護連携に関する取り組みを企画・立案して実行しているか。 10点満点

全国平均 7.3点（神奈川県 4.5点）

看取り加算に関わる施設での医療提供体制は？

16

【案】 「ひらつか介護サービス（医療）提供情報一覧について」実態調査

特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）・地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

平成30年5月実施

事業所名	平塚市		事業所番号	
住所				
電話番号	FAX			
メールアドレス				
従業員	生活保護	<input type="checkbox"/> 有	E V	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
入所定員	本入所	短期入所	名	認知症対応
名	名	名	名	名
普取り件数	H29年度	年間約	名	
入所	治	<input type="checkbox"/> 一般治	<input type="checkbox"/> 中間治	<input type="checkbox"/> 施設外
※（往診対応・定期訪問）上能力低下医療型を本社としてください。 ※記入欄が定かでない場合は別紙にご記入ください。				
診療状況	訪問	<input type="checkbox"/> 定期訪問	<input type="checkbox"/> 往診対応	<input type="checkbox"/> 夜間休日対応
		<input type="checkbox"/> 定期訪問	<input type="checkbox"/> 往診対応	<input type="checkbox"/> 夜間休日対応
		<input type="checkbox"/> 定期訪問	<input type="checkbox"/> 往診対応	<input type="checkbox"/> 夜間休日対応
協力医療機関 (医・歯)	常勤(名)	非常勤(名)	夜間看護師(名)	オンコール体制
看護師				<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
看護師派遣機関			訪問看護事業所	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
その他医療機関			職種(名)	
登録医療吸引等事業者 (登録特定行為事業所)の登録	①口腔内の吸引吸引	<input type="checkbox"/> している <input type="checkbox"/> していない	<input type="checkbox"/> 予定している (確)	
	②鼻腔内の吸引吸引	<input type="checkbox"/> している <input type="checkbox"/> していない	<input type="checkbox"/> 予定している (確)	
	③気管カニューレからの吸引吸引	<input type="checkbox"/> している <input type="checkbox"/> していない	<input type="checkbox"/> 予定している (確)	
	④胃瘻・腸瘻による経管栄養	<input type="checkbox"/> している <input type="checkbox"/> していない	<input type="checkbox"/> 予定している (確)	
	⑤経腸栄養剤	<input type="checkbox"/> している <input type="checkbox"/> していない	<input type="checkbox"/> 予定している (確)	

★対応可能な医療処置について（可能=○、要相談=△、不可=X）

医療処置	対応	備考	医療処置	対応	備考
1 注射・点滴			2 中心静脈栄養		
3 経鼻経腸栄養			4 胃ろう・腸ろう		
5 尿道カテーテルの管理			6 経鼻吸引		
7 酸素療法			8 人工呼吸器の管理		
9 気管切開ケア			10 人工透析の管理		
11 人工肛門の管理			12 栄養の管理（取扱い）		
13 褥瘡の処置			14 血糖測定		
15 インスリン注射			16 透析（在宅自己透析療法）		
17 個別機能訓練			18 口腔衛生管理		
食形態	<input type="checkbox"/> 常食	<input type="checkbox"/> 軟飯（粥）	<input type="checkbox"/> 飲み	<input type="checkbox"/> ミキサー	<input type="checkbox"/> 流動
医療処置者の全体の割合（5月現在）	%				

★力達医療サービスについて

保険外サービス	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
保険外サービス内容	

（事業所からの一言）